

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
国東市	(武蔵町) 麻田下地区 (麻田下)	令和3年3月	令和3年3月

1 対象地区の現状

地区内の耕地面積	20.0 ha
アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	20.0 ha
地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	10.8 ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	- ha
うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	6.4 ha
地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.1 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>地域内の担い手となる大規模経営がおらず農業後継者がいない状況のため、耕作放棄地の増加が見込まれる。また、地域内の高齢化率も高く、農地や農業用施設の管理に支障をきたす恐れがある状況。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>麻田下地区の農地利用は、地域の農業者等で担っていくが、農業後継者の育成及び地域外からの担い手の受入れを促進する。また、新規就農者や企業等の受入れ体制整備も行っていく。</p>
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

新たな担い手の確保や新規就農者及び企業等の受入を促進

- ・地域内外からの担い手や新規就農者及び企業の受入体制の整備を行う。

農地中間管理機構の活用方針

- ・認定農業者等の担い手が農地を集積する場合は、農地中間管理機構を活用する。

集落営農法人の設立

- ・今後の農地の受け皿として、集落営農法人の設立を検討する。